

様

いろいろな意味で大変な情勢の中、民進党の代表選挙に名乗りをあげられたことを、深く尊敬もうしあげます。私たちは、「大きな基準政府」の経済政策を考える研究会「ひとびとの経済政策研究会」のメンバーの研究者と、その呼びかけに賛同した研究者です。

私たちは、安倍内閣による、このかんの特定秘密保護法や安保法制の成立の強行、大学自治否定や言論統制の強化の動きを強く憂慮するとともに、安倍首相からはなおも、「共謀法」制定や、ひいては改憲をめざす意図等々が伝わってくることに、自由な社会が圧殺されていくことへの、深い危機感をいただいているものです。その意味で、この動きを阻止するために、貴党がこのかん尽くされた努力に大いに感謝し、さらに、これからの貴党の闘いに強く期待をよせるものであります。

しかしながら、安倍自民党誕生後の国政選挙や主要な地方選挙において、貴党はじめ野党各党が、安倍自民党の勢力伸長を阻止することができず、これまで常に自民党側の圧勝を許し続けたことは、大変遺憾なことと感じております。私たちは、これは、安倍首相の右傾化政策に反対する貴党の姿勢が間違っていて民意に支持されなかったためであるとは、決して思いません。ただひとえに、有権者の多くが最も関心をいさぐ経済問題について、安倍自民党サイドが争点化したのに対して、貴党が安倍自民党を超えて有権者にアピールする魅力的な経済政策を掲げることができなかつたことが敗因であると考えます。

そこでこのたび、私たちのうちの三人、松尾匡(立命館大学経済学部教授)、朴勝俊(関西学院大学総合政策学部教授)、森永卓郎(獨協大学経済学部教授)は、貴党の先日の参議院選挙での政策パンフレットを検討し、その問題点を率直に指摘して、もっと有権者のニーズにかなった経済政策をアピールすることを提案する論考を執筆いたしました。

貴職におかれましては、是非とも本稿を真摯にご検討いただき、代表選挙における政策案として掲げて、広く黨員はじめ、人々の議論を喚起していただきますことを強く願っております。

代表選挙でのご健闘を心からお祈りしております。

2016年9月5日

追伸：私たちは、全員で特定の政党を支持する立場ではありませんので、私たちのうちの一部または全員が、貴党以外の政党や政治家に対して、同様の政策提案を行う可能性があることを申し添えておきます。

松尾匡(立命館大学経済学部教授・「人々の経済政策研究会」共同代表)

朴勝俊(関西学院大学総合政策学部教授・「人々の経済政策研究会」共同代表)

西郷甲矢人(長浜バイオ大学バイオサイエンス学部准教授・「人々の経済政策研究会」共同代表)

橋本貴彦(立命館大学経済学部准教授・「人々の経済政策研究会」メンバー)

熊澤大輔(立命館大学経済学部非常勤講師・「人々の経済政策研究会」メンバー)

賛同者(あいうえお順)

稲葉振一郎(明治学院大学社会学部教授)

岩下有司(中京大学名誉教授)

大坂洋(富山大学経済学部准教授)

桂木健次(富山大学名誉教授)

樋口篤志(神戸国際大学経済学部准教授)

森永卓郎(獨協大学経済学部教授)